

オスプレイ
訓練を強化

危険
全国に拡大

最近の主な事故

【2012年】

4月11日 アフリカ北部モロッコで訓練中に墜落。2人死亡、2人重傷

6月13日 米南部フロリダ州で空軍仕様機が墜落。5人重傷

9月6日 米南部ノースカロライナ州の市街地で緊急着陸

【2013年】

6月21日 米南部ノースカロライナ州で着陸中に機体炎上

8月26日 米西部ネバダ州で「ハードランディング」、機体炎上



あいば野を契機に 全国どこでも

防衛省は滋賀・高知での共同訓練を契機に、オスプレイ訓練を全国に拡散する意向。現在は四国に集中している低空飛行訓練や夜間訓練も全国のルート（地図）で強行される危険があります。

兵庫 ドクターヘリの運航支障

近畿にかかわるのはオレンジルート（④=和歌山）とブラウンルート（⑦=兵庫）。訓練は何の通知もなく行われますが、兵庫県北部地域では公立豊岡病院を拠点とするドクターヘリが1日平均3～4回運航、患者の命と安全まで危険にさらされます。

騒音 オスプレイの危険は事故だけではなくではありません。オスプレイが発する低周波音が基準値を超えることを沖縄防衛局も認めています。

激しい吹きおろし 離着陸時に激しい吹きおろし（ダウンウォッシュ）を発生させ、周囲の人間を吹き飛ばす事故を起こしています。離着陸時に排出する高温の排ガスにより火災を起こす危険も指摘されています。

オスプレイ
来るな！

日米合同演習反対あいば野集会

10月6日(日)午後2時

滋賀・高島市今津町住吉公園
(JR湖西線・近江今津駅下車すぐ)

沖縄
総意は配備撤回



防衛省に訓練中止を求める近畿の共産党の代表（8月26日）

日本共産党 防衛省に申し入れ

防衛省は滋賀などでのオスプレイ訓練について「沖縄の負担軽減」を口実にしています。しかし沖縄の総意は「負担の拡散」でなく、「オスプレイの配備を直ちに撤回すること」（沖縄の全自治体と地方議会の安倍総理あての建白書）です。

近畿の共産党は防衛省への申し入れでキッパリ指摘し、オスプレイの訓練参加中止、配備撤回を求めました。

「維新」橋下氏は歓迎?!

先にオスプレイ訓練を大阪・八尾空港で引き受けると表明して猛反発された「維新」橋下徹大阪市長が、滋賀・高知での訓練へのオスプレイ参加を「非常に良いことだ」と“歓迎”。

「八尾受け入れ」表明を挙げて「僕が問題提起してこうなった」と自慢しました。住民の命と安全より米優先を自慢の種にするとは、自民党以上に米追随です。